

コンサルテーション事業報告

事業の名称	教育実践・教育経営 サポート事業	事業代表者	小泉 祥一
対 象	小・中・高校の校長・教頭・教諭等、教育委員会の指導主事等		
目 的	学校の教育活動と経営活動の計画と評価について指導助言 小・中・高校の校長・教頭・教諭等への教育方法的・学校経営的援助 教育委員会の指導主事等への教育経営的援助		
実 施 日	毎月 1 回土曜日のほか不定期に実施	実施回数	
		1 回程度／月	
実 施 場 所	小泉研究室、教育実践分析室、訪問先の学校等		
主なスタッフ	小泉祥一および東北大学教育学研究科に在籍する大学院生	人 数	
		博士後期課程 3 名 博士前期課程 3 名	
スタッフの活動内容	教員の指導の下、大学院生全体で関わるもの 学校の教育活動と経営活動の計画と評価について検討 教育委員会の事業計画と評価について検討 博士後期課程の院生（教職経験ある者）が関わるもの 来談者との相談 教員が関わるもの 来談者との相談、指導助言		

<p>事業実施までの 経緯と 現在の事業内容 (主なもの)</p>	<p>これまでに宮城県宮城野高校、塩釜高校、仙台市仙台高校、仙台市立広瀬中学校の学校評議員や学校評価助言者等を引き受け、学校評価について指導助言を行ってきた。また、校長研修、教頭研修、初任者研修や学校事務職員研修等の研修会の講師としての活動も行ってきた。さらに、宮城県の学校評価システムおよび仙台市の教員評価システムの検討委員として調査研究に関わり、学校評価および教員評価システムの確立にも関わってきた。そして、宮城県学力向上推進協議会委員として宮城県における児童生徒の学力向上事業の推進にも関わってきている。</p> <p>このような中で、今後も学校現場や教育委員会からの個別の相談活動の増加も予想される。また、その内容については他の学校や教育委員会においても惹起する共通問題も多い。</p> <p>そこで、これまでの内容を教育委員会や学校、教師への指導助言内容として整理するとともに、蓄積、保存し、研究室として教育現場へのサポート・システムを形成する。そのことによってよりウイングを広げるとともに、大学の研究室としての社会貢献のあり方を検討することが可能となる。</p> <p>学校の教育活動と経営活動の計画と評価について指導助言を行う。</p> <p>①小・中・高校の校長・教頭・教諭等への教育方法的・学校経営的援助</p> <p>②教育委員会の指導主事等への教育経営的援助</p> <p>〔相談対象〕</p> <p>①教員・個人相談関係 25件</p> <p>②学校関係 10校 21回</p> <p>③教育行政関係 9件</p> <p>④学校事務職関係 2件</p> <p>⑤カウンセラー関係 1件</p> <p>〔相談内容〕</p> <p>①学力形成、学力向上</p> <p>②カリキュラム経営</p> <p>③指導計画作成</p> <p>④学力評価、カリキュラム評価、授業評価</p> <p>⑤学校評価、学校経営</p> <p>⑥教員評価</p> <p>⑦校内研修・校内研究、授業研究</p> <p>⑧学校事務</p> <p>⑨不登校</p>
---	--